

5

2007年

組合広報

NO. 485

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

URL <http://www.tmk.or.jp>

わたしの意見	更に何ができるのか？	総財務副委員長 篠根健一	1
役員会委員会	理事長日誌、組合・関連団体行事予定		2
	工組理事会		3
	平成 19 年度東京都予算等に対する要望について (回答)		6
	大村理事長対談「在任期間 8 年を振り返り」		8
	東京都中小企業の 3 月景況 都産業労働局商工部		12
あなたの予定表	6 月の環研・協組集荷日程ほか		13
	訓練校 6 月授業案内		14
	電化皮膜工業(株)・東城佶氏黄綬褒章受章		15
	加藤耕造氏旭日双光章受章		
	十日会例会、事業継承の経験談発表・意見交換		16
	第 10 回産業交流展 2007 出展企業募集		17
	健保第 12 回ホリデーウォーキング		18
	荏原ユーヅライト(株)総合研究所竣工		19
支部シリーズ	中央支部の巻「浅草寺の歴史」		20
お気に入りの散歩道	中目黒のつけ麺 (Fujyama 製麺)	石川貞行 (大田支部)	22
支部通信	城南支部、品川支部、新生「城南支部」発会式、訃報		23
	城北支部、中央支部、大田支部		
	足立支部、葛飾支部、向島支部、		
	城東支部、連合青年部会		
	中国語 これはなにかな? 「星巴克」		40

更に何ができるのか？

総財務委員会副委員長 篠根 健一



平素より組合員、関係各位の皆様には、総財務委員会運営に格段のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。本年度も皆様のご協力を賜り、工業組合、公害防止協同組合の運営も厳しい状況の中でもありましたが、順調に推移することが出来ました。重ねて御礼を申し上げます。

テレビ、ラジオなどのニュースでは経済の拡大が続いていると報じられています。しかし、我々の周囲を見渡す限り、マスコミで報じられているような景気拡大を実感することが出来ないでいるのが現状ではないでしょうか？ 業種による業況格差が一段と進んでいます。大企業、中小零細企業の業況格差も企業体力、受発注環境の変化等により格差が拡大しています。

あわせて環境問題や規制への対応、このところの金属価格の高騰等による経営環境への対応が急務となるなど、多くの課題を課せられています。

本年も誠に残念ながら転廃業を余儀なくされ、組合員が組合を去って行きました。残念でなりません。組合員の減少は言うまでもなく、組合運営、士気に多大なる影響を及ぼすことは明確です。

組合員減少に伴い、種々発生する問題等について真摯なシミュレーションも必要となります。そして、何よりも組合全体として組合員の減少に歯止めを掛けるべく方策を考えて行かなければならないと感じています。

組合活動は組合員の皆様や執行部の努力により、ほう素、ふっ素の暫定基準の延長獲得、土壌汚染問題への関係各所への陳情等、着々とその成果を上げています。

◎ 更に組合は組合員の皆様の為に何が出来るのか…。

◎ 組合員は組合に何が出来るのか…を考え、この二つの歯車が更に大きく噛み合う時、その成果は更に大きくなると考えています。

総財務委員会の職務は組織体全体の事務の処理並びに財務の事務執行と多岐にわたります。委員全員が職務を全うすべく誠意努力をしております。今後とも総財務委員会運営にご理解とご協力を賜り、ご忌憚のないご意見を頂戴できれば幸甚に存じます。

大村理事長日誌



4 月

3 日(火)各種団体協議会

4 日(月)広報委員会対談

正副理事長会・理事会

5 日(木)環境委員会

6 日(金)訓練校入校式、連合青年部会総会

12 日(木)東京都中小企業団体中央会

組合事務局打合せ

松原区長候補者決起大会

13 日(金)都中央会総務委員会・会計監査

19 日(木)都中央会役員合同会議

24 日(火)城北支部総会

25 日(水)全鍍連役員指名委員会

正副理事長会・理事会

26 日(木)東京都中小企業団体中央会

城南支部総会

27 日(金)中央支部総会

～組合・関連団体行事予定～

6 月 2 日(土)西部支部総会

6 月 3 日(日)日本硬質クロム工業会総会

6 月 4 日(月)全鍍連国際委員会

6 月 5 日(火)全鍍連環境対策委員会

6 月 6 日(水)健保事業運営委員会

6 月 7 日(木)広報委員会

6 月 11 日(月)全鍍連近代化委員会

6 月 12 日(火)全鍍連広報委員会

6 月 14 日(木)連合青年部会講習会

pm7:00～めっきセンター

講師:下水道局施設管理部排水設備課

技術指導係

テーマ:めっき業界の為の地震災害時

における対策と対処方法

6 月 15～16 日(金土)

十日会工場見学会(新潟)

6 月 19 日(火)健保理事会・組合会

6 月 26 日(火)亜鉛めっき部会総会

7 月 1 日(日)第 10 回親睦ゴルフ大会(富士

レイクサイドカントリー倶楽部〒

401-0320 山梨県南都留郡鳴沢村字富

士山 6545 の 6 TEL0555-86-3111(代)

7 月 28・29 日(土日)技能検定実技試験

12 月 1 日(土)葛飾支部創立 60 周年記念

工組 第6回 理 事 会

事業・決算報告を承認

と き 平成 19 年 4 月 25 日(水)
午後 6 時 30 分～8 時
ところ めっきセンター4階会議室
出席者 大村、姫野、由田、川上
八幡、志田、青木
元井、中澤、高倉、吉川
篠根、小嶋、神谷、池田
半田
遠藤、小橋、荻宿、高橋
若山、小谷野、原、宮川
池田、今泉、高松、斎藤
永田、細井、小倉、菊池
広根、石崎、山田、岡本
監事 柏村、江原、石川

青木専務理事が定足数を満たしていることを報告、大村理事長の開会の挨拶の後、議長となり、議事録確認者として、

本所支部長の山田英佐夫理事、城東支部長の遠藤清孝理事を指名し、議事に入った。

1. 平成 18 年度事業報告及び決算報告(案)について

青木専務理事から、前回理事会(4月4日)で概要を説明したので、今回は要点のみ説明した。

(1) 事業報告及び決算報告(案)について

事業報告では組合基本方針の4分野事業、中でも環境問題を最重要課題として、環境との共生を目指して努力したこと、支部統合を検討し統合の運びとなった支部がある。

決算報告では、貸借対照表の資産の部、負債の部、損益計算書では環研分析事業が大きく伸びたこと、一般管理費では環研職員1名の退職により人件費の減少、修繕維持費はセンターの改修修繕、什器備品の更新を行った、その結果の当期利益、剰余金処分案などを説明した。

(2) 定款変更(案)について



前回理事会では理事会前日に全国中央会の雛形確定版が到着し、この対応が間に合わなかったが確定版に沿って一部変更が出たので改めて変更部分を説明した。第6条において3項条文として「前項の規定に係る規約の変更のうち、軽微な事例並びに関係法令の改正に伴う規定変更については総代会の決議を要さないものとする」を追加する。

第52条の条文中、総代会の議事録で「電磁的記録」を追加したが、セキュリティ問題などから時期尚早であり削除する。合わせて第57条の条文中の「電磁的記録」「電子署名」等も削除する。

(3) 役員選任規約の一部変更について

前回理事会で第2条3、4項で、従来の「常任顧問理事」とする常任を削除することを説明したが、改めて正副理事長会で検討の結果、3項は従来通り「常任顧問理事」として、1期終了後、「顧問理事」と2本立てとする。

監査報告

江原一美監事より、4月16日決算関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを認めたと報告、以上の各議案について諮ったところ、異議なく承認された。

2. 平成19年度事業計画及び収支予算(案)について

青木専務理事が、事業計画では基本方針の3本柱、収支予算案では前年度予算対比で収入、支出の部、資金計画表、経費賦課及び徴収方法、借入金残高最高限度案、常勤役員報酬額等を説明し、原案通り承認された。

3. 第41回通常総代会について

理事・監事並びに総代宛に開催案内(5

月25日(金)午後3時30分から総代会、6時から懇親会)を5月連休明けに発送する予定であることを報告した。

4. 退任役員表彰並びに顧問・相談役の推薦について

退任役員の方々、顧問・相談役の推薦について各々推薦基準に合致していることを説明、承認された。

<退任役員>

副理事長 間部健太郎(中央支部)
常任理事 小澤 栄男(足立支部)
常任理事 元井 民夫(城西支部)
常任理事 安斎 克茂(本所支部)
常任理事 半田 實(西部支部)
理 事 木下 好雄(中央支部)
理 事 西田 和幸(城東支部)
理 事 高松 俊和(城北支部)
監 事 新井嘉喜雄(城東支部)
環境委員 向坪 昭(向島支部)

<顧問・相談役推薦者>

顧 問 間部健太郎(中央支部)
相 談 役 小澤 栄男(足立支部)
相 談 役 元井 民夫(城西支部)
相 談 役 永田 吉輝(足立支部)
相 談 役 半田 實(西部支部)

顧問推薦<内規>

第1条 定款第36条により、顧問は理事会の議決を経て、理事長が委嘱する。

第2条 本部顧問の推薦は、正副理事長会の合意の上、理事会に推薦する。

第3条 本部顧問の推薦は、次の基準により推薦する。

- (1) 学識経験者
- (2) 理事長を、務めたもの
- (3) 副理事長を、2期以上務めたもの
- (4) 理事又は監事を、10期以上務め、年齢65才以上のもの
- (5) 組合の運営に、特別の功労をもって

長年に亘り貢献したもの
(6) 理事長経験者は、名誉顧問とすることができる

第4条 顧問は、所属する事業所が組合(本部)を脱退したときは、顧問の資格を喪失する。

第5条 支部の内規も、本部に準じる。

第6条 この内規は、理事会の議決を経なければ変更することはできない。

相談役推薦<内規>

第1条 定款第36条により、相談役は理事会の議決を経て、理事長が委嘱する。

第2条 本部相談役の推薦は、正副理事長会の合意の上、理事会に推薦する。

第3条 本部相談役の推薦は、次の基準により推薦する。

(1) 本部の理事又は監事を、通算5期以上務め、年齢60才以上のもの

(2) 本部の理事又は監事を、通算3期以上務め、特に組合の運営に長年に亘り貢献し、年齢60才以上のもの

第4条 相談役は、所属する事業所が組合(本部)を脱退したときは、相談役の資格を喪失する。

第5条 支部の内規も、本部に準じる。

第6条 この内規は、理事会の議決を経なければ変更することはできない。

この内規は、昭和59年8月1日に制定し同日より施行する。

この内規は、平成5年6月24日一部改正し同日より施行する。

この内規は、平成10年11月28日理事会において一部変更し同日より施行する。

5. 平成19年・20年度理事・監事・委員候補者について

東京組合の理事・監事、各委員候補者の状況を説明した。

6. 役員表彰規程の記念品の出資金増口加入について

青木専務理事から、表彰規程では「2年間を通して60%以上の出席率の者は記念品(又は金一封)を授与、60%未満の出席率で退任した者は感謝状のみ」とある。組合は組合員の脱退に伴う出資金の減少傾向にあり、正副理事長会で検討の結果、今総代会での退任役員の記念品代を出資金へ振替えとすることをお願いしたいと報告、承認された。

(報告事項)

1. 東京都予算要望に対する回答について(自由民主党)

組合の要望に対する東京都の回答について報告した。(別掲)

2. ほう素・ふっ素等の排水濃度調査の回答状況について

現在同調査の回答率30.6%で、5月8日の締切りまでに高回答率となるよう協力をお願いした。

3. 07年東京都ベンチャー技術大賞応募企業募集(東京都産業労働局)

革新的な技術・製品を表彰するもので、大賞300万円(1企業)はじめ優秀賞150万円(2企業)、奨励賞100万円(3企業)、特別賞50万円が贈られる。応募締切5月31日、表彰式10月25日などを案内した。

4. 年間行事予定について

今後の組合・全鍍連・関係団体等の行事予定を説明した。

都議会自民党より通知

東京都議会自由民主党から４月１７日付、平成１９年度東京都予算等に対する要望の回答について次のとおり通知を頂いた。

貴団体から平成 19 年度東京都予算等について要望をお受けしましたが、予算等も確定しましたので、回答書を送付させていただきます。内容については十分にお応えできないものもありますが、ご要望の趣旨はわが党の都政運営に十分に活かさせていただきます。今後とも責任党派としての活動をしてまいりますので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

要望「土壌汚染対策に関するお願い」

1. 土壌汚染地への対策は汚染物質の種類やその度合いのほか、当該地の用途地域、接面道路の状況、隣接地等周辺の状況などによって異なってくるため、工場跡地の有効な利用方法について、具体的、かつ適切な指導を願いたい。
2. 土壌汚染の概況調査に要する経費については、全額、行政による公共負担としていただきたい。

＜都の対応＞

- 1.工場跡地に土壤汚染があった場合、当該地の汚染の状況を踏まえ、事業者の土地利用の意向に応じた適切な対策を具体的に指導できるよう、区市の担当職員に研修等を実施しています。今後とも、研修を実施するとともに、区市の環境課長会等の機会を利用して、適切な指導が行なわれるよう徹底していきます。
- 2.土壤汚染対策については、汚染原因者が調査や対策の費用を負担するのが原則です。

中小事業者が廃業に伴い工場を廃止し、土壌汚染対策を講じる場合、その敷地が狭隘なことから、調査や対策に要する費用が割高となり、コストの負担が大きくなっていることは認識しています。

そのため、環境局では土壌汚染処理技術フォーラムの開催や簡易分析法の実証試験を行うことで、狭隘な土地でも適用できる低コストな対策技術や簡易分析技術の開発促進や普及促進を図ってきています。さらに、今年度新たに「土壌汚染に係る総合支援対策検討委員会」を設置し、様々な観点から検討しています。

19年度予算額 土壌汚染対策の促進 18,000 万円 (以上環境局)

要望「技能検定実施に関するお願い」

電気めっき技能検定(実技試験)については、当組合では検定委員及び補佐員のほかに必要な応援要員を加えて実施しているが、東京都職業能力開発協会に対して補佐員等の増員ができるよう、お取り計らい願いたい。

<都の対応>

技能検定の実施にあたって、都では東京都職業能力開発協会に対し、適切な検定の実施が確保できるように指導しています。また、職業能力開発協会はこれを受けて、各々の検定職種協力団体と連絡を密にし、円滑な検定の実施に努めているところです。

今後も技能検定の実施について、実施状況を考慮しながら検定職種協力団体の意見等を踏まえて、円滑に運営されるよう努めていきます。

東京都職業能力開発協会の助成 19 年度予算額 185,407 千円

(産業労働局)

要望「水道料金・下水道料金の減額措置継続に関するお願い」

めっき業に対する水道料金、下水道料金の減額措置が、平成 19 年度以降も継続適用されるよう、特別の配慮を願いたい。

<都の対応>

めっき業を対象とした水道料金の減免措置については、平成 16 年第三回都議会定例会における「東京都給水条例の一部を改正する条例に付する付帯決議」の趣旨を踏まえ、一般会計からの減収分の補てんを前提に、独立採算、負担の公平の原則の例外的措置として、平成 19 年 3 月 31 日まで継続して実施することとしたところです。

平成 19 年 4 月以降の減免措置につきましても、都議会での決議を踏まえて、継続します。

(参考)

めっき業における現行の減免措置

- ・対象 めっき業を専業とする者の当該めっき業に係る施設
- ・減免額(率) 1 月当たり 150m³を超える使用水量に係る従量料金に 100 分の 105 を乗じて得た額の 10%を減額する。(水道局)

めっき業に対する下水道料金の減免措置は、都議会での決議の趣旨を踏まえ、減収分についての措置を講じたうえで、負担の公平性の例外として期間を限定して実施してきたものです。平成 19 年 4 月以降の減免措置につきましても、都議会での決議を踏まえて 継続します。(下水道局)

要望「多摩地域における下水道料金の減額措置に関するお願い」

現在、東京 23 区内においては、めっき業に対する下水道料金の減額措置を講じているが、多摩地域においては、めっき業に対する下水道料金の減額についての各市の対応はまちまちであるので、すべてのめっき事業者に公平な措置が講じられるよう、各市や各市議会への働きかけを願いたい。

<都の対応>

多摩地域の下水道料金については、各市において市議会の議決を経て決定しているものです。都としては各市の自主性を尊重しております。(下水道局)

大村理事長対談

在任期間 8 年を振り返り

大村功作理事長が 4 期 8 年の任期を終了し、今総代会で退任される。理事長就任時から事務局体制の建て直しに取組みこれを軌道に乗せ、環境規制問題では業界の実状を積極的に関係官庁に訴える陳情請願運動を展開し大きな成果を挙げてきた。大村理事長に在任 8 年間を振り返って頂いた。聞き手は広報担当姫野正弘副理事長と神谷博行委員長。

事務局の建て直し

神谷広報委員長 大村理事長の在任期間の 8 年間を振り返ってお話を頂きたい。8 年前、瀬田前理事長から引き継がれましたが、その当時事務局運営が大変だったと伺っていますが、その辺のご苦労からお願いします。

大村理事長 それは理事長になる前から財政問題を含めて難しくなっていました。そこで私が理事長になる 1 年以上前から、仲間を募って勉強会を行いました。そのときのメンバーが間部さん、小林さん、菊池さん、海野さん、木村さんで財政問題や就業規則など組合運営全般にわたって勉強会を

開きました。そして理事長になって一番の課題が組合事務局のコンピュータ化ということで、特に経理ソフトの導入に苦労しました。また古参の事務局職員が辞めたりして、事務局が一新しました。新しい事務局職員となり、そのときに入った一戸専務理事に 1 年間、毎日夜遅くまでコンピュータ化や事務局の建て直しに頑張ってもらいました。公防協の小原専務にも協力してもらい、組合執行部としてもそれに携わった小林副理事長には頻繁に事務局に来て指導など頑張ってもらいました。この 1 年間は必死に事務局の改革に取り組んで頂いて、お蔭様をもって同じ勉強をした仲間が就業規則委員



(左から神谷広報委員長、大村理事長、姫野副理事長)

会と給与規定委員会の2つの委員会を作り、それぞれ立派な規定を作ってもらって、それに基づいて現在の就業規則、給与規定が出来上がっており、組合の建て直しが出来たと思っています。細かいことを言えばきりがなく、苦労話は一抔あります。そんなことで1年間苦労した甲斐があつて一戸専務が1年の過労の末にダウンして辞めさせてくれということで、その後宮沢専務に代わりましたが、いま振り返ってみると、結構みんなよく頑張ってもらって、うまく順調に來たかなと思います。

神谷委員長 就業規則も10年掛かりですね。

大村理事長 私が理事長になる前、総財務委員会の担当副理事長を務めました。瀬田さんが理事長になり、私が総括副理事長になって総財務担当から外れましたが、その間も、勉強会の仲間に、研究、勉強をお願いして、私が理事長になってから、梅本さんに定款の委員長をやって頂き、間部さんに給与規程や退職金規程の委員長をやって頂いて新たに作って頂いたのが経緯です。

環境規制問題

神谷委員長 環境規制問題では知らない間に鉛の0.1ppmは決まってしまったこともあり、ほう素ふっ素の規制問題では特に神経を使って頑張られたと思いますが。

大村理事長 この問題は東京組合が単独で走って、国会議員の先生方のお力添えを頂いて経産省、環境省に請願しました。この問題については経産省課長が国会対策の答弁書の作成などだいぶご苦労されたと聞いています。平成19年も暫定基準の再延長を頂きましたが、経産省、環境省から今後3年間でしっかり勉強して備えて下さいよという言い方をされた。もちろん我々も考えるが、まず国が考えてくれなければいけ

組合の主な動き

平成11年5月26日総代会 瀬田前理事長の後を引継いで大村理事長が就任、次代への脱皮を図るべく定款、諸規を見直し、組合基盤の整備等に取組んだ。

同10月19日 関東鍍金工業厚生年金基金理事長

平成12年5月26日総代会 一戸専務理事健康上の理由で退職。

同6月23日理事会 就業規則及び給与規定等改正答申を承認

同11月10日 環境省告示 ほう素、ふっ素等の排水規制でめっき業に対する暫定排水基準が設定された。

平成13年度事業 組合ホームページ立ち上げ、組合員の情報化を推進した。

平成15年2月15日土壌汚染対策法施行

同9月12日 中央環境審議会が「水生生物の保全に係る環境基準の設定について」答申

同11月5日理事会 環境プロジェクト立ち上げ環境規制問題と取組む。

平成15・16年度事業 ほう素ふっ素等の暫定基準が16年6月末に期限切れとなることから、適用期限の延長など国や都の関係方面に働きかけた。その結果、若干基準を強化して平成16年7月1日から3年間適用が延長された。

平成17年1月7日 初の試みで組合本部と12支部合同新年賀詞交歓会開催。

同5月12日都中央会総会で大村会長就任

同5月30日全鍍連総会で大村会長就任。

平成17～18年度 土壌汚染問題で東京都に要望、平成18年度予算に「小規模企業等における土壌汚染対策が円滑に実施されるための仕組み作りを検討する」経費800万円が、更に平成19年度1億8000万円が予算化された。

////////////////////////////////////
ない。こういう方法でやりなさいと言われれば我々もやりますよ。我々は能力もお金も設備もないし、今後姫野理事長の時代も、そういうことを訴えて頂きたい。有効な処理方法がなければ3年後にまた延長をお願いしたい。取り敢えず今回は延長を頂いたことで安堵していますが、これからは議員の先生方のお力をお借りして色々な請願、要望活動をしていきたいと思います。

姫野副理事長 私も大村理事長と常に同席させて頂いた。もともと我々業界レベルでは東京都でも部長や局長とは中々面会できなかったが、都議会の先生方を通して面談できるようになりました。また国会議員の先生方の仲介を得て経産省、環境省でも直接大臣と懇談が出来て、業界の実状を訴えることができたのは大変なことだと思う。業界団体がまとまって国なりに陳情する、全鍍連の組織と政治をフルに活用しないと、我々の実状はなかなか理解してもらえない。その足掛かりを大村理事長が先頭を切って築いて頂いたことは大きな財産になるものだと思います。

神谷委員長 亜鉛も暫定を頂きましたが、**大村理事長** 亜鉛は5年間の暫定ですが、5年後に暫定が切れるのかこれからの課題です。全鍍連の調査でどういうデータが出せるかで延長が決まると思う。基準値をオーバーしているデータを隠すことは、却って自分の首をしめることになるので、正確なデータを出していただけると運動がしやすくなります。

神谷委員長 今回環研分析料の割引きを行い協力をお願いしているわけですね。

大村理事長 ほう素は完全な処理技術がなく、たとえば排水からほう素をとったとしてもそれを処理できないのだからどうにもならない。東京の場合は大きな処理槽もないので水で薄めて流すことも出来ない。

土壌汚染対策

神谷委員長 土壌汚染対策では大きな成果をあげましたね。

大村理事長 都議会自民党の先生にお願いして、今年度1億8000万円の予算を頂きました。どういう使い方をされるのか分かりませんが、私が常々言っていたのは、最初の50cmの概況調査(表層土壌調査)は国や都がやるべきだと考えていたので、それには使えるのではないかと思います。ただ汚染が検出された時に情報公開制度による公開請求があると、公開される問題があります。お宅は汚染されていますよと公開されていいか悪いか、その辺をどう話し合いをしていけばよいか。調査して都区の内部資料にとどめるならいいが、制度的に公開されるとなると、調査を受ける人がいなくなってしまうのではないかと思います。汚染を公開されて、隣近所や営業に影響が出ないかこれから話し合いをしていかないといけないと思う。いまは対処の仕方がないので我々としても廃業ではなく、休止ということにしているが、東京都も国の基準の通りにやってほしいと思う。工場を続ける人に工場を売る場合、調査しなくていいなら売しやすいが、廃止届けを出して調査しなさいと言われ、調査して汚染が出たら売どころの話ではなくなる。そういうことも含めると、土壌汚染は難しく先に進めない。ただ難しい事例が出た場合には都なり国なりお願いにいつて見解を求めたり、要望する方向で動いていくしかないと思う。

また、ひと頃に比べて土壌汚染の処理費用が十分安くなったことは事実らしい。処分業者が多く出ればこれからも安くなっていくのかと思っているが、それにしても東京の場合は井戸が沢山ある上、有機溶剤の場合はガス調査のほかに水質調査もしろといわれると半端な金額ではない。これ

から都と話し合いをしていかないといけない。

神谷委員長 公防協組の運営はどうか、ひと頃は業績が落ちたときもありましたが。

大村理事長 公防協組も一時期悪いときもありましたが、いずれにしても土地は組合のものであり、羽田空港の近くで 500 坪、かなりのものですよ。一番の問題は現在の設備で、後何年もつのか、デカンタが壊れた時は 7000 万円くらいで直るともいうが、果たしてシアン処理だけで黒字でやっていけるかこれからの課題であると思う。いま借金があってみなさん不安に思うかもしれないが、積立金もあるし全然問題はないと思う。ただ今後運営が良くなるのか悪くなるのか、新しい仕事をやるとか、いまミヤマさんに借りて頂いているが、今後タイアップして如何に上手に運営するかが課題ですね。

姫野副理事長 平成 11 年から公防協組の話まで聞かせて頂いて、いろんなところで大村理事長が強力なリーダーシップを発揮され組合を万全な状態にして頂いた。環境問題の重要性ということで 15 年に環境プロジェクトを立ち上げて、東京都、国に働きかけて環境問題と正面から取り組んできた。めっき業界が色々な規制を受ける中で、1 つ 1 つクリアして今日まで来ているが、この流れについてはどう考えていますか。

大村理事長 正規の委員会のほかに環境プロジェクトとホームページの特別委員会を設けました。これは時代の流れが速くて、正規の委員会では対応しづらかった面があり、環境プロジェクト、ホームページ特別委員会を設けて対応し、ある程度役割は果たしたと思っています。従ってこれら課題を正規の委員会に戻して運営出来るということで、特別委員会を廃止しました。活動中は一生懸命勉強して、遅れて対応してい

た土壌汚染に対しても色々なデータを集めて勉強して対応出来ました。みなさんの努力に感謝しています。

支部統合問題

神谷委員長 今年度の重点課題である支部の統合についてお願いします。

大村理事長 私がたまたまスタートラインに当たったものと思っています。人数が減ってくると活性化を含めてやはり統合が必要になってくると思います。少ない人数でもリーダーシップを取る人がいればよいが、支部役員も変わるし若い人が入らないと活性化もしないということになる。たまたま私が取っかかりで始めただけで、これからの課題になると思います。全鍍連も 10 社以下の組合があります。全鍍連の場合は人数が少ないと単組内の 1 社当りの会費負担が大きくなります。本年 5 月 23 日に東北組合が合併誕生して 10 周年を迎え、記念式典に招待されました。合併誕生から 10 年は大きな業績ですが、6 県の組合が合併して全鍍連会費も格段と安くなります。会費の問題だけでなく事業の円滑化の問題も含めて、今後東京組合が何支部になるかわかりませんが、近い将来の大きな課題です。

都中央会会長就任

神谷委員長 最後に東京都中小企業団体中央会からみた鍍金組合についてお願いします。

大村理事長 鍍金組合という確りとした組織があることを中央会にも認められたものと思う。吉川元理事長が中央会副会長を活発にやられていたこともあり、私に常任理事を受けてくれないかという依頼がきたのが始まりです。常任理事を受け、委員会委員長を務め、副会長に指名されました。そして前会長は昨年 2 月 1 日の中央会創立 50

6月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	金			葛飾支部	
2	土				西部支部総会
3	日				
4	月		大田支部	城東支部	全鍍連国際委員会
5	火			城北支部	全鍍連環境対策委員会
6	水		品川支部・大田支部	中央支部	健保事業運営委員会
7	木	広報委員会		目黒・世田谷地区	
8	金		城南支部	葛飾支部	
9	土				
10	日				
11	月		城西支部		全鍍連近代化委員会
12	火			足立支部	全鍍連広報委員会
13	水		城西支部・城北支部		
14	木			西部支部	連青講習会
15	金		中央支部・本所支部	葛飾支部	十日会工場見学(新潟)
16	土				
17	日				
18	月				
19	火		向島支部	品川地区	健保理事会・組合会
20	水			本所支部	
21	木		西部支部	向島支部	
22	金			葛飾支部	
23	土				
24	日				
25	月		城東支部・葛飾支部		
26	火			蒲田・大森地区	亜鉛部会総会
27	水		葛飾支部	城西支部	
28	木				
29	金		足立支部	葛飾支部	
30	土				

(役員会・委員会は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認ください)

6月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金) 授業時間(A:14:00～17:00 B:17:00～20:00 C:17:00～20:30)			
日	曜	時	内 容(予 定)
1	金	A	電気工学① (電気工学概論)
		C	実技(基本2) (基礎実技)
5	火	A	電気工学② (電気工学概論)
		C	実技(応用2) (専攻実技)
8	金	A	電気工学③ (電気工学概論)
		C	実技(基本3) (基礎実技)
12	火	A	と粒・研磨加工① (金属加工法)
		C	実技(基本4) (基礎実技)
15	金	A	と粒・研磨加工② (金属加工法)
		C	実技(応用3) (専攻実技)
19	火	A	腐食防食① (電気化学)
		C	実技(基本5) (基礎実技)
22	金	A	腐食防食② (電気化学)
		C	実技(基本6) (基礎実技)
26	火	A	めっき設備① (生産工学概論)
		B	ハルセル試験③ (金属表面処理法)
29	金	A	めっき設備② (生産工学概論)
		B	亜鉛・亜鉛合金めっき ①(めっき法)

※聴講料は1科目クーポン券3枚または7500円

黄綬褒章受章 電化皮膜工業㈱ 工場総責任者・東城侑氏



政府はさきに春の叙勲・褒章受章者を発表した。東京都鍍金工業組合関係者では電化皮膜工業㈱工場総責任者の東城侑氏（とうじょうゆたか）が黄綬褒章受章の栄に浴された。

東城氏は昭和 7 年 7 月生れ。昭和 25 年当時の電化鍍金工業所へ入所以来、アルミニウムの陽極酸化処理(通称アルマイト処理)技能者として 56 年間従事し、その間に技能の研鑽に努めるとともに、職務に精励し、種々の功績を挙げている。

陽極酸化処理法は製品の使用目的に合わせて種々の分野で利用されている。長い間の経験から陽極酸化の処理法については極めて高い技能を有しており、その作業内容は正確で処理製品の品質は高く、発注者よりその技能は高く評価されている。また、陽極酸化処理に伴う製品の加工精度の低下を少なくするとともに、品質を安定化させる処理法を考案し、工業化しており、精度の高い陽極酸化処理の技能を定着させた。特に、アルミニウムの硬質陽極酸化処理では品質向上と標準化に尽力し、処理が困難とされている多くのアルミ鋳造品の処理法を確立し、工業化した。また、アルマイト皮膜には装飾および防食を目的とするものがあり、装飾では染色や 2 次電解による発色技術が重要であるが、この技術の新たな活用法を開発した。以上の技術を活用して、耐放射線着色アルマイト技術を利用した原子力発電所の識別用標識作成、地磁気の影響を少なくするために安定的に送信する東京オリンピックの放送機材の陽極酸化処理を担当するなど社会的な貢献をされている。

旭日双光章受章 加藤耕造氏



元組合員、元墨田区議会議員の加藤耕造氏が旭日双光章受章の栄に浴された。

加藤氏は東京都鍍金工業組合において昭和 48 年から 2 期 4 年広報委員長、平成 7 年から 2 期 4 年監事を務められ、組合運営に尽力された。

■十日会

事業継承の経験談発表・意見交換

十日会(太田幸一会長)は5月10日(木)午後7時からめっきセンターで会員等30名が出席し例会を開催した。

今回は去る2月例会の中小企業庁係官講演の「中小企業の事業継承問題」につぐものとして、パネラーの八幡鍍金工業(株)社長の八幡順一氏、神谷電化工業(株)社長の神谷博行氏、(株)梅田鍍金工業所社長の永田一雄氏、(株)東電工舎社長の山田英佐夫氏が、事業継承の経験談を発表するとともに、ディスカッション形式で意見交換を行った。

はじめに太田会長は「事業継承について2月例会に次いで今回は経験者から具体的なお話を頂く。個々には中々聞けない話であり、パネラーの先輩方のご協力に感謝申し上げる」と開会の挨拶した。

各パネラーから、事業継承の経緯、遺産相続、相続税対策、株式譲渡方法、自社株価の評価などについて具体例が発表された。

意見交換では会社を引き継ぐにあたって、子供の立場から親に対して中々言いづらいが、親が元気なうちに相続した方がよい。

遺産相続では親が急に亡くな

った場合兄弟平等といわれると会社を運営していけなくなるので、予め親が元気なうちにその辺をきちんと言ってもらえると良い。会社は良いときもあれば悪いときもあり、悪いときに持ち堪えられないといけないのでそれなりの資産が必要である。

遺産相続を受けて税務署から厳しい調査を受けるという事例もあるが、税務署や国税庁には素人には想像を絶する情報網があつて、姑息に隠そうと思つても我々の浅知恵ではぼろが出たり、到底無理だと思つた方がよい。

社長に就任するとその場でいろいろな判断、決断しなければならぬことが多くなる。お客さんや従業員に対しても責任が重くなる

など活発な意見交換が行われた。



第 10 回産業交流展 2007 出展企業募集

東京都産業労働局

産業交流展 2007 は、首都圏の積極性あふれる個性豊かな中小企業の優れた製品や技術を一堂に展示する、国内最大級の見本市です。

今回で節目の 10 回目となるこの展示会では、販路開拓による受発注の拡大や、情報収集・交換の場を求める元気な中小企業のみなさまの出展を募集しています。

キラリと光る独自の自社技術をアピールしたい、新たな顧客獲得の場として活用したい、新しい経営手法で会社をもっと強くしたい、異業種交流による新しい販路や技術開発の道を拓きたい、海外進出への足がかりとしてリスクの少ない方法を知りたい、などの、みなさまの声にお応えする、新しい可能性への扉がここにあります。

ビジネスチャンス満載の「産業交流展 2007」への出展をお待ちしています！

開催概要

1. 開催期間 平成 19 年 10 月 25 日(木)・26 日(金)
2. 会場 東京ビッグサイト 西 1・2 ホールほか
3. 主催 産業交流展 2007 実行委員会(委員長：東京都産業労働局長)
東京都、東京商工会議所、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会、(株)東京ビッグサイト、(財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター
4. 出展規模 600 企業・団体(予定) [産業交流展 2006 実績 587 企業・団体]
5. 来場規模 35,000 人 (予定) [産業交流展 2006 実績 33,419 人]
6. 特別企画 基調講演／特別講演などのステージイベント、出展者交流などの企画を予定
7. 同時開催 東京都ベンチャー技術大賞表彰式・東京デザインマーケットなどを予定

募集概要

1. 募集期間 5 月 9 日(水)～7 月 31 日(火)<先着順>
2. 対象 首都圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)に事業所を有し、以下のいずれかに属する中小企業・団体等
(1)情報 (2)環境 (3)医療・福祉 (4)機械・金属
3. 出展料 52,500 円<1 小間 (約 9 平方メートル) あたり>
4. 申込先 産業交流展 2007 運営事務局 (電話：03-3503-7807)

★ウェブサイトで出展申込書がダウンロードできます。

<http://www.sangyo-koryu2007.jp/>

問い合わせ先 産業交流展 2007 実行委員会事務局

(東京都産業労働局商工部調整課計画係内)

電話 03-5320-4744

健保第 12 回ホリデーウォーキング

関東めっき健康保険組合の第 12 回ホリデーウォーキングが 4 月 22 日(日)、晴天に恵まれたのなか、都内で唯一路面電車を残しつつ発展する豊島区をあるくコースで行われ、被保険者等 156 名が元気に参加した。

J R 目白駅前で受付(9:30～)をして駅前の学習院大学の外堀に沿って歩き出し、「鬼子母神」へ。ここは安産、子育て、火難除けの神、豊島区内最古の建造物とされ、境内には天然記念物指定の大銀杏があり、今も名物の「すすきみみずく」を売る上川口屋は都内最古の駄菓子屋。鬼子母神を後に都電荒川線に沿って雑司が谷墓地へ。ここは明治のはじめ墓地を持たない東京を故郷とする市民のために、共同墓地として造営された。著名人には夏目漱石、竹久夢二などの墓がある。墓地を出て近くの旧宣教師館に立ち寄る。1892 年に来日した米国人宣教師マッカーレブの住居跡で、庭には馬酔木や石楠花などが見事な花が咲き誇っていた。このあと高架の高速道をくぐって不忍通りから護国寺(1681 年徳川綱吉の母、桂昌院の願いで建立された)へ。お参りをしコースを急いだ。護国寺を出て春日通りを大塚、池袋サンシャイン方向へと足を運ぶ。サンシャイン隣接の東池袋中央公園で健保受付に到着、完歩証と食事券をいただいて池袋駅へ

約 2 時間 7km のウォーキングが楽しく終了した。



(鬼子母神を参拝)



(都電荒川線の脇をウォーク)



(護国寺で小休止)

荏原ユージライト(株) 総合研究所竣工

荏原ユージライト(株)はかねてより建設を進めていた同社総合研究所がこのほど竣工の運びとなり、4月23日より業務を開始したことを発表した。

同社研究所は、1970年4月に竣工した藤沢工場の一部を利用してスタートし当初は自転車、バイク、自動車や家電品、建築金具等に関するめっき技術を海外から導入することや導入技術の改良を行うことが主目的であったが、その後、電子部品を対象にしためっき技術を独自開発するようになり、研究員も倍増した。2000年には生産拠点を藤沢から新潟へ移転した後、工場跡をリフォームして研究施設として現在まで使用してきたが、建設後37年を経て建物も老朽化したことから研究所の新設、移転を決定した。

新しい総合研究所は川崎市麻生区のマイコンシテイ栗木地区に新設。マイコンシテイ栗木地区は川崎市が主体となって開発した地区で、先端技術を目指す企業が集結している。総合研究所の建物は地上4階、地下1階の耐震性に優れた鉄骨造り。敷地面積は約5465㎡(1653坪)、延べ床面積は約6000㎡(1800坪)で、現在約80名が勤務、将来、研究員が増員しても対応できるスペースを確保した。

旧研究所は、表面処理分野のウェット(湿式)プロセス、特に薬品関連の研究開発を主体に取り組んできた。新研究所ではこれまでの研究開発に加え、薬品と装置の組み合わせた研究開発を探求できるようにテストプラントを配置。更に、ドライ(乾式)プロセスの研究開発を行う設



備をクリーンルーム内に導入し、「薬品と装置」「ウェットとドライ」種々組み合わせたプロセスを総合的に研究開発できる研究所として、名称も従来の「中央研究所」から「総合研究所」と改めた。

研究棟は、1階に分析、解析の精密機器とパイロットプラントを、2階および3階に研究開発の実験室と研究員の居室を、4階にクリーンルームを、地下にはテストプラント、ドライプロセスをそれぞれ配置している。研究開発の効率に配慮した配置はもとより、環境対応に配慮した排水処理施設と排ガス処理施設を備え、外部に対する環境影響を抑えるとともに、室内の換気にも配慮して、研究員の働く環境と安全性などを心がけたとしている。また、省エネルギーの一環として建物屋上にソーラーパネルを設置し、使用電力の一部を太陽光発電によりまかなっている。

荏原ユージライト(株)は総合研究所の竣工披露とともに、3月1日より東京証券取引所市場第一部に上場したことを記念し関係者350名を招いて、5月18日午後1時30分から研究所視察、5時30分から横浜ロイヤルパークホテル鳳翔の間で記念パーティーを開催した。

＜支部シリーズ＞

中央支部の巻 “浅草寺の歴史”

浅草寺は東京都内最古の寺院として知られていますが、そもそものような経緯で建てられたのでしょうか？それでは浅草寺と、境内にある雷門、それから本堂の歴史について書きたいと思います。

寺伝によると、創建の経緯は、推古天皇 36 年（628 年）、現在の隅田川である宮戸川で漁をしていた檜前浜成・竹成兄弟の網にかかった仏像があり、これが浅草寺本尊の聖観音像であります。この像を見た兄弟の主人は出家し、屋敷を寺に改めて供養しました。これが浅草寺の始まりとされています。

江戸時代後半には、境内に「仲見世」の前身である商店や芝居小屋が設けられ、大道芸人が集まるなど、庶民の娯楽センターの役割も果たしていました。そうした傾向は近代以降も引き継がれ、浅草は庶民の盛り場、娯楽場として発達し、浅草寺はそのシンボリック存在でした。明治初期には境内が公園地に指定され、1885 年には表参道両側の仲見世が近代的な煉瓦造の建物に生まれ変わりました。

その表参道の入口にある門、有名な「雷門」ですが、切妻造の八脚門で、向かって右の間に風神像、左の間に雷神像を安置することから正式には「風雷神門」と言いますが、「雷門」の通称で通っているのです。1865 年に焼失後、長らく仮設の門が建てられていましたが、1960 年に約 1 世紀ぶりに鉄筋コンクリート造で再建されました。雷門といえばひととき目を引く門内にある大提灯ですが、この大提灯は一年中開いているのではありません。年に一度の三社祭の時と、台風が到来した時には畳まれるのです。



最後に浅草寺の本堂についてですが、本堂は本尊の観音像を祀るため観音堂とも呼ばれます。旧堂は、1649年の再建で、近世の大型寺院本堂の代表作として国宝に指定されていましたが、1945年の東京大空襲で焼失しました。現在の堂は1958年に再建されたもので、鉄筋コンクリート造です。外陣には川端龍子筆「龍の図」、堂本印象筆「天人散華の図」の天井画があります。内陣中央には本尊を安置する宮殿があり、宮殿内部は前の間と奥の間に分かれ、奥の間に秘仏本尊、前の間に「お前立ち」の観音像が安置されています。毎年12月13日に開扉法要が行われるほか、特別な行事の際などに開扉が行われる場合がありますが、その際も信徒が拝することができるのは「お前立ち」像のみで、秘仏本尊像は公開されることはありません。宮殿の左右には脇侍の梵天・帝釈天象、堂内後方左右には不動明王像と愛染明王像を安置しています。



誰もが知っている浅草寺ですが、このような歴史的な背景があり、建てられたものでした。

(広報委員・鈴木啓之)



中目黒のつけ麺 (Fujiyama 製麺)

石川真行(大田支部)

中目黒駅周辺はここのところの開発を受けてかなりの様変わりとなっている。とは言え、改札口は私の学生時代から相変わらずにひとつきりである。改札を出て左手に曲がり、そのまま線路下を祐天寺方面(横浜方面)に歩くと、すぐ右側にお目当ての「つけ麺屋さん」が現れる。ここの辺りから先はまだ再開発の手が入っておらず、昔ながらのガード下の雰囲気を持ち続けている一角である。

「Fujiyama 製麺」という看板が出ているので、特殊な麺を使っているのだろう、と思い、暖簾をくぐってみた。平日のお昼時だったので大盛りは無料のサービスだ。迷わずに「つけ麺の大盛り」を注文する。待つことしばし。やがて皿に盛られた麺が登場。麺は太麺、冷水できりと冷やされてキュッとしまっている。スープは逆に温かく「ゆず」の香りがなんとも食欲をそそってくる。味は基本的にしょうゆ系だが、まったりとしたコクの中にも甘さが程よく調和している。太麺は弾力があり歯応え充分。スープとの絡みでまさに「マイウー」。二口目には日本

そばのように半分程度スープに浸して食べてみるが、これは全部スープに浸したほうが麺とスープの絡みの点からみるとよさそう。もっともこのあたりは好みの部分だが。

食欲旺盛な人には麺が二倍の 360 g の特盛、さらに三倍のうま盛、四倍のフジヤマ盛! と用意されているのでご心配なく。また、量はちょっと、という女性向けにはレディース盛として 150 g のメニューもある。自分はシンプルなメニューが好みだが、トッピングにこだわりのある人には「マル得つけめん」が一押しのお勧め! 野菜・チャーシュー・味付け玉子・のりがセットになっていて食べ応え充分。

「つけ麺」はどうも、という人には通常の暖かい「ラーメン」も提供しているのでご心配なく。ただ、私はここに来るとやっぱり「つけ麺」を注文してしまうので、「ラーメン」についてのコメントはできません。悪しからず。

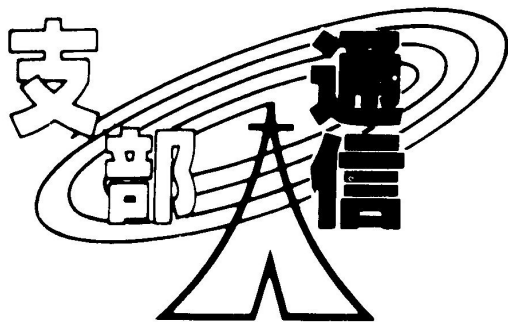
麺に使用する小麦に最高級のものを用いているのがこの店独自こだわり。夜の部での焼酎ではやはり厳選された麦焼酎が多数用意されているのも特徴。辛党には麦焼酎で一杯やりながら、というシチュエーションも可能だ。

勘定の時に店員さんに「ここの店の名前は?」と尋ねたところ、けげんそうな顔つきで「Fujiyama 製麺ですけど?」と答えられてしまいました。これって店名だったんですね。

住所と連絡先は下記の通り。

高田馬場店もあり、「らーめん頑徹」(中野店) も姉妹店なのでお近くの店で。

Fujiyama 製麺 中目黒店
東京都目黒区上目黒 3-3-9
Tel 03-3715-0079



■城南支部

第 34 回総会 支部解散を決議

城南支部(若山満支部長)は 4 月 26 日(木)午後 6 時 30 分から大崎広小路のゆうぼうとで第 34 回総会を開催した。

小谷野英勝副支部長の司会により、若山支部長は「お忙しいなかを多数のご出席を頂き感謝申し上げます。私が当支部最後の支部長を

務めさせていただいた。この 2 年間みなさんにご迷惑をおかけしたが、この仲間は統合後も地区として続くのでこれからも一丸となり地区として和気藹々と助け合いながら頑張ってやっていければと思っている。任期中の力不足をお詫び申し上げるが、今後もお手伝いする形で残るで、よろしくお願い申し上げます」と挨拶した。

司会者一任により議長に木村秀利顧問を選出して議事に入った。議長は出席者 12 社、委任状 8 社により総会が成立することを報告した。

平成 18 年度事業報告 伏原暉幸副支部長
平成 18 年度決算報告 藤田嘉雄会計
監査報告 伏原明人監事
支部解散について
地区名について「山手地区」

以上各議案が異議なく承認され、中澤敏明常任理事の閉会の挨拶で終了した。



■品川支部 第34回総会 支部解散を決議



品川支部(藤田直人支部長)は、4月26日(木)午後6時30分から大崎広小路のゆうぼうとで支部員17社が出席して第34回定時総会を開催した。

原清一副支部長の司会で開会し、藤田支部長は「品川支部最後の総会となる。この総会は事業報告と決算報告だけで、統合後の新生・城南支部の発足とともに、事業計画、予算、役員について審議することになるのでご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。議長に高倉利守常任理事を選出して議事に入った。

平成18年度事業報告 原清一副支部長

平成18年度決算報告 菅野勝靖会計

監査報告 板倉宏之監事

支部解散について

以上各議案を担当役員が説明し、異議なく承認された。

新生「城南支部」発会式

城南支部、品川支部が4月26日午後6時30分からの総会で発展的に解散し、引続いて両支部統合による新生「城南支部」の発会式を開催した。

若山満氏の司会により、議長に大村功作理事長を選出して議事に入った。

第1号議案 役員選出

第2号議案 平成19年度事業計画案

第3号議案 平成19年度予算案

役員選出は、司会者から、旧城南、旧品川支部の合同役員会で役員案を決めさせて頂いたと役員案を発表、原案通り承認された。(別掲)

続いて平成19年度事業計画案を原清一副支部長、予算案を菅野勝靖会計が説明し原案通り承認された。

来賓の由田猛副理事長は「このたび旧城南支部と旧品川支部が発展的解散、合併して新

たに城南支部のスタートを切られたことをお祝い申し上げます。本部総財務委員会が統合を担当したことからお祝いの言葉を述べる機会を頂いたことを感謝申し上げます。仲人役として結婚式のように嬉しく思うとともに、それもお見合いでなく恋愛による結びつきと感じており、本日の発会式が和やかに無事終了されたことを大変嬉しく思う。これからも 61 社のまとまった支部として、本部の中でも大きな存在になろうと思う。財政豊かで優秀な人材を多く抱えており、本部に対してもお力添えをお願いしたい。今後も支部の合併の動きが出てくるであろうし、各支部も大変注目しており、我々本部としても将来の良い手本となるものと期待しており、これからの活躍を祈念申し上げます」と挨拶した。

藤田直人支部長は「品川支部長から引き続きスライドして新支部の支部長になった。由田副理事長から期待しているとの祝辞を頂き、プレッシャーを感じるが、こうして始まったからには何とかまとめていきたいと思っている。今年は早い時期の総会開催となり、何か



（藤田新支部長が挨拶）

と不手際があったが、今後は円滑に支部運営が出来るよう努めていくのでご協力をお願い申し上げます」と就任の挨拶をした。

新役員の紹介のあと、小谷野英勝副支部長の閉会の辞で発会式を終了した。

引続き懇親会に移り、植木謙一事業部長の司会により、藤田支部長は「事業計画では納涼会くらいしか決めていないが、役員会などで、旧両支部の交流を深めるため親睦会など



を行いたいと思う。工業組合においては当支部が最初の統合となり、他支部の見本となるように頑張らなければいけないと思うが、あまり力まないで頑張っていきたい。よろしく願い申し上げる」と挨拶した。

来賓の姫野正弘副理事長は「和気藹々のうちに新しい城南支部が誕生したことをお祝い申し上げる。城南支部には強力なリーダーシップを発揮している大村理事長がいて、城南、品川支部が合併してより体力をつけて今後業界の中で頑張ってもらえるという方向を示して頂いたのではないかと思います。我々組合は120年近い歴史があり、かつての城南支部が、城南、品川、大田支部に分かれて34年が経過し、新たに合併されることは時代の流れだろうと思う。東京組合は色々な委員会を持っており、なかなか委員になって頂ける人がいないというのが現状である。これからも発展的な統合の方向を考えていかなければいけないということで、良い手本となって頂きたい」と挨拶した。木村秀利顧問が、「新生城南支部の発展を祈念して」乾杯音頭をとった。懇親会は信田、小倉、小嶋3地区部長による中締めまでなごやかに進められた。

訃 報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

菊池マチ様（足立支部・(有)小室鍍金工業所菊池浩司社長のご母堂）4月22日死去。告別式は26日午前10時半より足立区西新井本町の千代田西新井ホールで行われた。喪主は浩司氏。

吉川ツタ子様（大田支部・(株)大崎金属吉川進社長のご母堂）5月16日午前2時肺炎のため死去、92歳。告別式は22日午前11時より大田区西蒲田のくらしの友蒲田総合式場で行われた。喪主は進氏。

＜新「城南支部」役員＞

支 部 長	藤田 直人	藤田鍍金工業(株)
副支部長	若山 満	C・S・S(株)
〃	小谷野英勝	(株)トーテック
〃	原 清一	(有)伊豆鍍金工業所
事業部長	植木 謙一	(有)植木電工業
副事業部長	下田 篤	(有)二幸精鍍研究所
会計部長	菅野 勝靖	(有)光電鍍工業所
副会計部長	藤田 嘉雄	三友電子工業(株)
広報委員長	板倉富美子	(株)光進鍍金工業所
監 事	板倉 宏之	(有)千歳鍍金工場
〃	伏原 明人	丸代電化鍍金工場
顧 問	草間 英一	(株)三ツ矢
〃	手塚 忠大	(有)不二電化鍍金工業所
〃	佐藤 二郎	(有)佐藤硬質鍍金工業所
相 談 役	三井 寛夫	琴平工業(株)
〃	八木 延彦	
〃	鈴木 幸雄	鈴木鍍金工場
山手地区部長	信田 志俊	(株)アラカワ
会 計	藤田 嘉雄	三友電子工業(株)
東地区部長	小倉 芳夫	小倉鍍金工業(株)
副地区部長	浅川 浩	(有)浅川鍍金工業所
副地区部長	板倉 宏之	(有)千歳鍍金工場
会 計	藤田 直人	藤田鍍金工業(株)
西地区部長	小嶋 貞男	(有)小島鍍金工業所
副地区部長	中嶋 健造	美水彩金(有)
会 計	佐藤 一男	(有)佐藤硬質鍍金工業所
事務局長	木村 秀利	木村鍍金工業(株)

■城北支部

総会

今泉支部長再選

城北支部(今泉好隆支部長)は4月24日(火)午後6時から日暮里駅前のホテルラングウッドで定時総会を開催した。

大和田昌宏総務の司会により、上田浩司副支部長の開会の辞のあと、今泉支部長は「大村理事長はじめ支部員多数のご出席を頂き感謝申し上げます。私は篠根前支部長より引き継いで一生懸命、無我夢中で対応しているうちに2年が経ってしまった。何が出来たかと反省しているが、とにかく私一人の力では支部運営は何も出来ないので執行部のみなさんに支えられながらやってきた。総会は支部長にとって開票を待つ立候補者の心境で議事がうまくいってくればよいがと感じており、ご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。議長は司会者一任に

より大和田博相談役を選出して議事に入った。議長は支部員出席者42社、委任状8社により有効に総会が成立する旨を報告した。各議案の内容は担当役員が報告した。

事業報告 今村和則総務

会計報告 茅野一彦会計

監査報告 宍戸富士男監査役

生命傷害共済会計報告

鈴木康之担当幹事

自動車・火災共済会計報告

須永 操担当幹事

部編成替えについて

今泉好隆支部長

部編成替えでは組合員の減少に伴い日暮里地区が一部、二部と分かれていたのを一つにするもので、以上各議案が異議なく承認された。

役員改選は、海野吉正選考委員長が選考委員6名を指名し別室で審議、新役員案を次の通り発表し、満場の拍手で承認された。(別掲)再選された今泉支部長は「これまで



も一生懸命にやってきたが、さらに力を入れて頑張っていく所存で、執行部、支部の皆様のお力添えをお願い申し上げる。早速支部活動を進めていきたい」と就任の挨拶をした。最後に野上敬副支部長の閉会の辞で総会を終了した。

二部懇親会は今村和則総務の司会により田村卓也副支部長の閉会の辞、今泉支部長の挨拶。来賓として大村功作理事長、須永京子区議会議員、仁木久之青年部前会長並びに鈴木功一青年部新会長から挨拶を頂き、野上榮一相談役の乾杯音頭で祝宴に入った。懇親会は篠根健一常任理事の中締め、高松俊和副支部長の閉会の辞までなごやかに進められた。

平成 19 年度役員及び部長(敬称略)

支部長	今泉 好隆	(株)山 晴
副支部長	大和田昌宏	(有)大和田鍍金工業所
	田村 卓也	(有)田村化学工業
	高松 俊和	高松鍍金工業所(株)
	野上 敬	野上化学工業(株)
会計部長	茅野 一彦	(有)双和鍍金、
会計副部長	大塚 伸吾	関東化学工業(株)
総 務	今村 和則	今村鍍金工業(株)
	五十嵐康夫	(有)五十嵐鍍金工場
会計監査	中神 脩	(有)中神鍍金工業所
	穴戸富士男	(有)日本鍍金工業所
1 部部長	内海 一正	(有)東京電鍍金工業社
2 部部長	渡辺 俊幸	(有)渡辺メッキ
3 部部長	五十嵐正一	(有)五十嵐鍍金工場
4 部部長	酒井登志雄	(有)酒井鍍金工業所
5 部部長	穴戸富士男	(有)日本鍍金工業所
6 部部長	与那国泰男	常木鍍金工業(株)

■中央支部

総会開催

新支部長に斎藤功氏

中央支部(木下好雄支部長)は 4 月 27 日(金)午後 6 時から上野精養軒で総会を開催した。

はじめに司会の間部健一郎総務から、支部員出席者 22 社、委任状 8 社をもって有効に総会が成立することを報告、斎藤功副支部長が開会の挨拶をした。

木下支部長は「大型連休前のお忙しい中、ご来賓、支部員多数のご出席頂き厚くお礼申し上げます。この 1 年間支部員の皆様にご協力を頂き色々な行事を行った。環境問題は厳しさを増しているが、ほう素、ふっ素、窒素等の暫定基準が 6 月で期限切れとなり、再延長されることになっている。亜鉛規制も 5 から 2 へ強化されるが、こうした問題に対して本部が鋭意努力しており、中央支部も団結して本部活動に協力していきたい。環境問題で頭を悩ませているうえに金属が高騰している。材料費が大幅に値上がりし、今後会社をどう経営していけばよいのか、値上げをしたいが、なかなか価格転嫁が難しいのが現状である。金属が足らずに上がっているのか、投機で上がっているのか分からないが、過日のニュースで 7 種類の金属が国家備蓄されているそうで、それにはニッケル、クロムが含まれており、どういふことで放出されるのか、組合としても対応をお願いしたい。今後も金属の高騰が続くと、我々はなお一層の努力をしていかなないと商売が難しくなる。本総会で私は支部長を退任するが、今後は若い役員構成で中央支部を引っ張って頂きたい。若い人たちを引き立て、十二分に力が発揮できるよう

皆様の絶大なる協力をお願い申し上げます」と挨拶した。

議長に東松国雄顧問を選出して議事に入った。平成 18 年度事業報告及び 19 年度事業計画を中村建輝総務、平成 18 年度決算報告及び 19 年度収支予算案を横井紀一会計、会計監査報告を内山弘一監査役が行い、承認された。

退任役員として新井富保前副支部長と古屋昌彦前部長に対して感謝状を贈呈した。

役員改選は議長が選考委員を指名し別室で選考、内山弘一選考委員長から、次期支部長に斎藤功氏にお願いしたいと発表し満場の拍手で承認された。

斎藤功新支部長は「木下前支部長、2 年間お疲れさまでした。これまで多くのことを学ばせていただいた。伝統ある中央支部、素晴らしい歴代支部長の顔ぶれを考えると私が支部長になってよいのか不安に思う。しかし引き受けたからには全力を尽くし、支部のために精一杯支部長職を務めさせていただく所存である。未熟な点が多々あると思うが、中央支部には頼りになる先輩が



(斎藤新支部長の挨拶)

大勢おり、先輩方の力をお借りしながら支部運営がうまくいくよう努力していくつもりである。今後の課題として例会でどのようなことをすれば支部員のためになるのか、他支部との統合問題など、課題も沢山ある。これら問題は支部員みなさんの貴重な意見を参考にして取り組んでいきたい。ご協力をお願い申し上げます」と就任の挨拶をした。

来賓として大村功作理事長、姫野正弘副理事長、深谷隆司衆院議員、保坂三蔵参院議員から祝辞を頂き、石井徹夫総務の閉会の辞で総会を終了した。



■大田支部

第 34 回定時総会

大田支部(佐藤富幸支部長)は 5 月 17 日(木)午後 6 時 30 分より大森東急インで第 34 回定時総会を開催した。

入内島正悟副事業部長の司会により、支部員 67 社のうち出席者 33 社、委任状 25 社をもって有効に総会が成立することを報告した。石川貞行副事業部長の開会の挨拶のあと、佐藤富幸支部長は「お忙しいなか、大田区長をはじめ組合員多数のご出席を頂き感謝申し上げます。昨年残念ながら 3 社転廃業のため支部を脱退された。総会でしかお会い出来ない方がいるということで、年 1 回こうして顔を合わせて親睦を図れることは有り難いと思う。マスコミでは大企業が空前の利益とか過去最高益という好決算が報道されているが、我々めつき業界にとっては厳しい状況が続いている。排水規制、土壤汚染問題だけでなく、ここ 2 年ほど銅、

ニッケル、亜鉛等の非鉄金属が 3 倍 4 倍に上がっている。もちろん我々は自助努力で解決しなければならないが、個々にはとても解決できない問題が多くなっている。改めて同業者の集まりである支部の役割は何なのかと思う。やはり我々 1 人 1 人では解決出来ない問題を協力し合って行政なり関係官庁に陳情をし、少しでも我々の事業がしやすい環境を整えることが本来の目的であると思うが、そういう意味で平成 19 年度の支部活動がより活発になるようにみなさんに積極的に参加して頂き、ご協力をお願いしたい。本総会がスムーズに進行できるようご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。

議長に志田和陽副理事長を選出して議事に入った。

平成 18 年度事業報告 石川貞行副事業部長

平成 18 年度決算報告 江原一美会計

平成 18 年度会計監査 志田篤紀監事

平成 19 年度事業計画 石川貞行副事業部長

平成 19 年度予算案 江原一美会計

以上各議案を担当役員が説明し異議なく



承認された。
役員改選は、佐藤富幸支部長が5名の新任を含めて新役員案を発表、原案通り承認された。

＜大田支部役員＞

支部長	佐藤 富幸	新日東電化協業組合
副支部長	金子 俊明	金子工業(有)
副支部長	池谷 純一	(資)池谷電鍍金工場
副支部長	池田 潤一	(株)池田車框作所
副支部長	宮川 容子	大森クローム(株)
事業部長	池田 潤一	(株)池田車框製作所
副事業部長	石川 貞行	新日東電化協業組合
副事業部長	入内島正悟	誠鍍金工業(株)
会 計	渡辺 淑子	(株)渡辺鍍金工場
会計監査	志田 篤紀	(株)広尾電鍍金工場
会計監査	黒坂 純久	(株)黒坂鍍金工業所
顧 問	海老名平吉	エビナ電化工業(株)
顧 問	内藤 雅文	平和工業(株)
相談役	江原 猛二	メイホー(株)
相談役	大沢 俊孝	(株)大沢鍍金工業所
相談役	鈴木 健吾	新日東電化協業組合
青年部会長	内藤喜達	平和工業(株)
地区部長		
大森南地区	萩坂清一	(有)萩坂クローム
大森地区	菅野 正	東京黒染工業所
同副部長	鈴木 博	(有)馬込鍍金工場
同副部長	長橋平八	(資)新高鍍金工場
蒲田東地区	小山 隆	(株)日東化工
蒲田西地区	杉山藤夫	(有)杉山化学工業所
京浜島地区	池谷純一	(資)池谷電鍍金工場
同副部長	志田篤紀	(株)広尾電鍍金工場
羽田地区	吉川 進	(株)大崎金属
同副部長	磯谷敏政	(有)共栄鍍金工業所
環境対策本部長	川上洋一	(資)東亜鍍金工場
環境対策本部顧問	矢部賢	矢部技術事務所
環境対策本部副本部長	支部長	

環境技術士事務所所長から祝辞を頂き、宮川容子副支部長の閉会の辞をもって総会を終了した。

引続き二部懇親会に移り、志田副理事長の開会の挨拶のあと、来賓として平将明衆院議員、神林茂都議会議員、近藤忠夫区議会議員の祝辞を頂き、退任役員の葛西康二前副支部長は「事業はやっていないが、会社は存続しているのでこれからも変わらぬお付き合いをお願いしたい。志田副理事長の支部長時代から佐藤支部長の1期目まで副支部長を務めさせて頂いた。合わせて連合支部の事務局長を2期4年務めさせて頂き、ここまで出来たのはみなさんのご協力のお陰であり、感謝申し上げます」と挨拶、江原一美前会計は「私は会計を10年以上やっていると。お蔭で大過なくやってこられた。今回渡辺さんが引継いで頂くが、私同様にご協力をお願い申し上げます」と退任の挨拶。渡辺淑子新会計から「会計を引継いで身の引き締まる思いである。江原さんのようにスムーズに仕事がこなせるようになるのか不安もあるが、みなさんのご指導を頂きながら少しでもお役に立てるように努めていきたい」と挨拶をした。内藤雅文顧問の乾杯音頭で宴に入った。懇親会は大沢俊孝相談役の中締めまでなごやかに進められた。

来賓として川上洋一副理事長、松原忠義大田区長、小原俊幸協組専務理事、住田裕

■足立支部

定時総会

新支部長に細井碧氏選出

足立支部(永田一雄支部長)は5月16日(水)午後6時半から西新井大師門前の武蔵屋で定時総会を開催した。

豊田金造監査役の司会により、橋本英雄副支部長が開会の挨拶をした。

永田支部長は「お忙しいなかを多数のご出席を頂き感謝申し上げます。4年間支部長を務めさせて頂いたが、みなさんのご協力のお陰で無事任期を務めることができ感謝申し上げます。昨日父の遺品を整理していたら、昭和39年の組合員名簿が出てきた。私はまだ中学生の時代である。この当時の足立支部の会員が34社、現在39社と同じ位の組合員数である。当時の会員で現在残っているのが16社

でほとんど社長が代わっている。42年の長さはすごいと思う。飲食店で40数年続いている所はそうはない。めっきはなくてはならない職種ということで、余り悲観的に考えないで絶対必要な仕事であり、将来的に夢をもってやっていければ生き残っていけるのではないかなと思う。本日新しい支部長が決まると思うが、私同様のご厚情を賜り、足立支部が益々発展し和気藹々とした会となることを祈念する。4年間お世話になったことを厚くお礼申し上げます」と挨拶した。

議長に瀬田新二顧問を選出して議事に入った。議長は出席者19社、委任状15社をもって有効に成立することを報告した。

平成18年度事業報告 石川芳英総務
平成18年度会計報告 松井直巳会計
監査報告 菊池浩司監査役
平成19年度事業計画案 橋本孝総務



平成 19 年度予算案 松井直巳会計

以上各議案が異議なく承認された。

役員改選では、議長が選考委員 3 名を指名し別室で審議、永田吉輝選考委員長が新支部長として細井碧氏を発表し、満場の拍手で承認された。最後に磯村博明副支部長の閉会の辞をもって総会を終了した。

引き続き二部懇親会に移り、細井碧新支部長は「みなさんの協力でスムーズに総会が終了したことを感謝申し上げる。永田前支部長には 4 年間我々を引っ張って頂き厚くお礼申し上げます。私は永田前支部長のように能力がないので一層のご協力をお願いしたい。めっき業界は環境問題を中心と



して他の業界とは違った多くの制約がある。本部執行部役員、環境委員会等のご努力でほう素ふっ素等の暫定期間の延長、亜鉛の規制強化も暫定が決まった。もう一つお願いしたいのは銅、ニッケル、亜鉛等の金属が高騰しており、我が社の工場が維持できるかどうか、ぎりぎりのところへ来ている。理事会でも話があったが、国家備蓄があり、価格高騰で放出するということで、組合としても関係官庁への働きかけるなど活動をして頂きたい。これから 2 年間、支部運営に努力していくのでみなさんのご協力をお願い申し上げる」と就任の挨拶した。

来賓の大村功作理事長、高橋利男鍍友会会長から祝辞を頂き、永田吉輝顧問の乾杯音頭で宴に入り、小澤栄男常任理事の中締めまでなごやかに進められた。



■葛飾支部

総会開催

葛飾支部(小倉攻一支部長)は5月15日(火)午後6時から勤労福祉会館で総会を開催した。

広根淳一副支部長の司会により西谷幸一副支部長が開会の挨拶をした。

小倉支部長は「お忙しいなかを大勢ご出席を頂き感謝申し上げます。環境問題では、ほう素ふっ素の暫定基準が本部活動と、先生方のご支援などにより延長されることになり、胸をなで下ろしている。18年度決算は、厳しい予算を組んでいたが、みなさんの協力と役員さんの努力により今年はすこぶるうまくいったと思う。みなさんの協力により任期2年無事に務めることが出来たことを感謝申し上げます。平成19年度は60

周年記念というのは大きなイベントがある。後ほど神谷実行委員長から詳しい話があると思うが、ご協力をお願い申し上げます。仮に銀行が集金業務をやって頂けないという話が来た時の準備をしていかないといけない時期にきているのではないかとということで、いろいろ調べたところ、インターネットを利用しないといけないが、いま保有しているパソコンでは機種が合わないということで新しいパソコンを買わざるを得ないのではないかと考えている。またコピー機も10年経ってよく故障するというので、コピー機も新しくしないといけないということで、みなさんのご理解をお願いしたい。何はともあれ18年度はみなさんの協力によりうまく行き感謝申し上げます」と挨拶した。議長に太田寿一顧問を選出して議事に入った。



平成 18 年度事業報告 広根淳一副支部長
平成 18 年度決算報告 伊藤精二副支部長
監査報告 関根利定監事
平成 19 年度事業計画 柴田徹副支部長
平成 19 年度収支予算案岩佐博巳会計

以上各議案を担当役員が説明し異議無く承認された。

役員改選では菊池忠男選考委員長が、本部役員候補者の選考経過等を説明、小倉支部長が新支部役員案を発表し、満場の拍手で承認された。

<平成 19 年度支部役員>

顧問 太田寿一、石川進造、菊池忠男、
神谷博行

相談役 安良岡一晃、岡田亘弘、高須国之、
関根利定

支部長 小倉攻一

副支部長 西谷幸一(財務、総務担当)

伊藤精二(財務担当)

広根淳一(総務担当)

佐藤秀昭(技術環境担当)

中田充彦(技術環境担当)

柴田 徹(財務担当)

会計 岩佐博巳

監事 関根利定、山田鎮雄

技術環境 狐塚保之、近藤義次、吉村寛、
金子雄二

総務 鈴木 侑、松岡昇造、山田鎮雄、
太田幸一

神谷博行実行委員長が、葛飾支部創立 60 周年記念事業について、葛飾支部は向島支部から独立し昭和 22 年に発足、丸 60 年になる。記念式典は 12 月 1 日綾瀬駅前のマリアージュ玉姫殿で開催、予算案概要などを説明、承認された。最後に佐藤秀昭副支部長の閉会の辞で総会を終了した。

引続き二部懇親会に移り、中田副支部長の司会により、小倉支部長は「また 2 年間みなさんのご協力をよろしくお願い申し上げます。総会では全ての議案をご承認頂き、特にパソコン、コピー機の購入では出来るだけ安く買うようにしたい。めっき業は絶対なくてはならない業種で、めっきがなければ夜も日も明けない。中国が世界の工場といわれるが、企業の半分が環境違反を起こしているとも聞いている。日本の企業は環境問題には優秀であり、いま中国に仕事をもっていわれているが、世界の企業は環境規制を遵守する企業に仕事を出したいと思っており、いずれ環境を守る日本に仕事が戻ってくると思う。今年は産業展実行委員長が西谷さんということで、桜の花で会場を満開にさせて頂けるということでかなり華やかになろうと思う。また 2 年間みなさんの協力をよろしくお願い申しあげると挨拶した。

来賓として大村功作理事長に挨拶を頂き、退任ブロック長の紹介のあと、石川進造顧問の乾杯音頭で宴に入った。懇親会は岡田亘弘相談役の中締めまでなごやかに進められた。

■向島支部

定期総会開催

新支部長に石崎利一氏

向島支部(石田昌久支部長)は 5 月 11 日(金)午後 6 時から東京東信用金庫吾嬬支店会議室で定期総会を開催した。

深田稔副支部長の司会により、はじめに出席 17 社、委任状 17 社をもって有効に成立することを報告した。向坪昭副支部長の開会の挨拶のあと、石田支部長は「ご来賓はじめ組合員のみなさまにはお忙しい中を多数出席を賜り感謝申し上げます。平成 18 年度が無事終わり、財政的にもなんとかプラスの方向で終わることが出来た。しかし今年も 3 社の脱退があり、最盛期は 120 社を超えていたと思うが、3 分の 1 の 40 社になってしまった。私が 4 年前の支部長就任時に会費の値上げをさせて頂き、少ないながらもプラスの方向で推移しているが、新たに脱退者が出てくると苦しくなる。世間

では景気が良いといっているが、我々のところでは実感がわいてこない。もうしばらく歯を食いしばって、みんなで知恵を出し合っていけば、2 年後 3 年後には良い方向にいくのではないかと考えている。本日は役員改選があり、承認が得られれば私は支部長を降ろさせて頂き、新しい支部長に代わって頂くことになる。この 4 年間、みなさんの力強いご協力のもとで何とか 4 年間務めてきた。若葉会にはいろいろな会に出席、応援して頂いて感謝申し上げます。これからも組合の役職を務めるがこの 4 年間勉強になり自分なりに良かったと思う。議案が沢山あり議事進行に協力をお願いしたい」と挨拶した。

議長に池田敏則常任理事を選出して議事に入った。各議案を担当役員が説明しそれぞれ異議なく承認された。

平成 18 年度事業報告 石崎利一副支部長

平成 18 年度決算報告 小篠滋会計

監査報告 神谷清勝会計監査

任期満了に伴う役員改選では、坂口守男選



考委員長から新役員案を発表し満場の拍手で承認された。

支 部 長 石崎 利一 墨田硬質クロム鍍金(有)

副支部長 坂井 正廣 (有坂井鍍金工業所

〃 小篠 滋 (有)小篠鍍金工場

〃 深田 稔 深中メッキ工業(株)

会 計 坂井 正廣 (有坂井鍍金工業所

〃 梅本 禎司 (株梅本鍍金

幹 事 佐久間隆太郎ソクモ電鍍工業(株)

〃 山浦 健司 (株仁平鍍金工業所

〃 篠崎 淳一 (有篠崎鍍金工業所

〃 影山 雄一 (株影山メッキ工業所

〃 岩井 孝之 (有)共栄化工

会計監査 神谷 清勝 (株神谷工業所

〃 籠利 達郎 (有)籠利鍍金工業所

続いて平成 19 年度事業計画案を石崎支部長、収支予算案を坂井副支部長が説明し原案通り承認された。報告事項として環境対策研究会報告を小篠副支部長、若葉会報告を岩井孝之会長が行った。



(石崎新支部長)

石崎利一新支部長は「ただいま支部長を仰せつかった。私の今期の方針は先程事業計画で発表された通りで、ひとつお願いしたいことは、支部員一人一人が積極的に組合運営に参加して頂きたいことである。環境問題等、各事業所では到底対応しきれない問題が段々増えており、このような時こ

そ日頃お支払いしている組合費の元をとってやるくらいの気持ちで参加して頂けると有り難い。組合に加入して何のメリットがあるのかとたまに質問を受けることがある。その時、取り敢えず参加して頂いて自分でメリットを作って頂きたいと答えている。3年後には 70 周年の記念事業があり、そのための準備を進めさせて頂きたいと思う。今後も支部の運営にみなさんの協力をお願い申し上げる」と就任の挨拶をした。

多年にわたり支部発展のために尽くされた石田昌久前支部長に向島支部賞が、続いて石田昌久前支部長と、若葉会の岩井孝之会長に感謝状が贈られた。



来賓として、八幡順一副理事長、田中邦友区議会議員、小川幸男墨田区地域振興部商工担当部長、岡本榮喜東京東信金常勤理事、山崎昇墨田区長から祝辞を頂き、佐久間隆太郎幹事の閉会の辞をもって総会を終了した。

引続き二部懇親会に移り、石田昌久前支部長の乾杯音頭で宴に入った。懇親会は顧問相談役の中締めまでなごやかに進められた。

■城東支部

定例総会

城東支部（遠藤清孝支部長）は、去る5月16日（水）午後6時半より江戸川区グリーン・パレス2階、千歳の間において第67回定例総会を開催した。支部員の過半数を超える17社・20名が参加し、ご来賓に組合本

部からとして八幡順一副理事長、そして江戸川区議会議員・高木ひでたか氏にお越しいただいた。仲俣義則幹事の「開会の辞」に続き遠藤清孝支部長は「昨今、好調と言われている景気だがまだまだ地域格差や企業格差があり昨年来の金属の高騰も相まって我々の商売もなかなか厳しいものがある。支部長になって4年経つがその間に城東支部も14社が脱退している、激変の時代であるがなんとか頑張っていきたい。」と挨拶、その後、梶原信孝相談役を議長に選出し議事に入った。

第1号議案・平成18年度事業報告。第2号議案・平成18年度会計報告及び会計監査と順調に議案は進み、第3号議案の役員改選については遠藤清孝氏の支部長留任を決定し各役員及び委員については後日選考するという事であった。その後第4号議案まで無事終了し最後にご来賓の八幡副理事長と高木ひでたか区議会議員から「第67回定例総会が無事に終了したことをお喜び申し上げる」とご挨拶をいただき司会進行の新井副



支部長の閉会の辞で総会は終了した。第2部は開場を高砂の間に移し、再び支部長挨拶に続いて八幡副理事長の乾杯の発声で懇親会に入り参加者はみな料理と飲み物で和やかに談笑し芹川常次総代の三本締めでお開きとなった。

（文・写真 内山雄介）

■連合青年部会

総会 新会長に高橋利男氏選出

連合青年部会(仁木久之会長)は4月6日(金)午後6時半から浅草ビューホテルにおいて定時総会・懇親会を開催した。

入内島正悟氏(城南連合)の司会で、はじめに仁木会長は挨拶で「本日はお忙しいなか集まって頂き有難う。2年間みなさんの協力で頑張ってきて感謝している。本日の総会がスムーズに行われることを願います」と述べた。

議事に入り、平成18年度事業報告、会計報告、会計監査報告、平成19年度事業計画案を岩井孝之氏(向島若葉会)が報告し、出席者全員の拍手により承認された。また、今年度は役員改選の年で、新会長に足立鍍友会の高橋利男氏が選出され承認された。

高橋利男新会長は就任挨拶で「これから2年間、みなさんの力を借り一生懸命頑張るので協力をよろしくお願いします」と抱負を述べ、閉会した。

懇親会は鈴木信夫氏(西部五月会)の司会で始まり、高橋新会長は「本日はお忙しいなか多数のご出席を頂き有難う。大村理事長はじめ本部役員の方々には訓練校入校式と重なり大変申し訳なくお詫び申し上げます。私1人では力不足なので各青年部の会長、OB、本部の方々にご支援を頂き頑張っていきたい。それから今年から東京都中小企業団



(高橋新会長の挨拶)

体青年部協議会に加盟し活動していくことになった」と挨拶した。

来賓を代表して大村功作理事長より、東京都中小企業団体中央会の説明とともに、青年部会員の要望をどしどし発言してもらいたい。みなさんの力がこれからの鍍金組合を支えていくのでよろしくお願いしたいと祝辞を頂いた。来賓紹介後、姫野正弘副理事長に乾杯の発声を頂き、暫し歓談を楽しんだ。途中、各青年部会の新会長の挨拶(城北青年部・鈴木、城南連合・代理・金子、城西青年部・岡田、向島若葉会・杉江、足立鍍友会・橋本、西部五月会・鈴木)があった。由田猛副理事長の中締め、鈴木氏の閉会の辞をもって終了した。



『中国語』これはなにかな？

承 春先

星巴克(xing bake)

「星巴克」は「xing bake」と読みます。この中国語なんだと思いますか？答えは「スターバックス」コーヒーのことです。

「スターバックス」グループは中国に出店する際、店の看板は世界のどこでもあるチェーン店と同様に、英語しか書かないことに決めた。しかし、中国の客は何かして中国語で呼び易い言葉にしようとしていました。そこで、勝手に「星巴克」という外来語らしい中国名をつけたそうです。

この訳は典型的な意識と音訳を合わせた訳法です。英語 star は中国語の「星」と訳され、bucks はその発音に似た漢字を使った、いわゆる「当て字」という翻訳方法です。

現在「スターバックス」は、お酒落の象徴として若い中国人の中でとっても人気のあるコーヒー店となっていますが、それと同時に、クローンした中国バージョンの「星巴克」コーヒー店も繁盛しています。

編集後記

トヨタ自動車は好調な海外販売を背景に、3 月期決算で営業利益が日本企業で初めて 2 兆円を超えて注目されたが、国内販売は減少傾向が続き、昨年度は 21 年前の水準にまで落ち込んだ。このため、トヨタはプロジェクトチームを立ち上げ、大手旅行会社と共同で、車を使った新しい旅行の形を検討するほか、観光関連の団体や企業とともに、自動車旅行向けの観光情報のデータを整備するための取り組みを進める。最近では旅行やレジャーなど娯楽目的に車を使っている人が減っているということで、トヨタはこうした取り組みによって車の利用を促し、新車の販売を伸ばしたい考えであるという。

たしかにレジャーに車を使うと不便なことがある。まずレジャーには欠かせないアルコールが飲めないことが致命的である。車での旅行やキャンプ、バーベキューなどを行う場合、誰かが飲まずに運転しなければならないことがある。

また、登山では目的の登山口まで車でいけるのは非常に便利であるが、登山は大体同じ道を往復するより縦走コースが多く、

一山越えてしまうともとの場所に戻るのは容易なことではない。車利用の場合は同じ道を往復しなければならない不便がある。それと登山ではものすごい汗をかき、下山したところで飲むビールが最高にうまいが、車の場合はこれができない。従って登山では車を利用する人は少なく、電車、路線バスが中心となる。

車は大きな重い荷物が運べるなど利用価値は大きいですが、反対に飲酒運転は厳禁であるなど不便なこともあり、今後も車を使ったレジャーは減っていくのではないかな。

広報5月号

印刷 平成 19 年 5 月 15 日

発行 平成 19 年 5 月 20 日

(毎月 1 回 20 日発行 第 41 巻第 2 号)

発行所 東京都鍍金工業組合

〒113- 東京鍍金公害防止協同組合

0034 東京都文京区湯島 1-11-10

Tel 03(3814)5621 FAX03(3816)6166

発行責任者 大村 功作

編集責任者 神谷 博行

印刷 スザキ企画 Tel 047(338)1222

〒272-0802 市川市柏井町 2-1419-4

定 価 500 円